

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 8 週（ 2025/2/17~2/23 ）感染症発生動向調査速報値（ 2025/2/26 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **162** 人、定点医療機関当たり **3.38** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

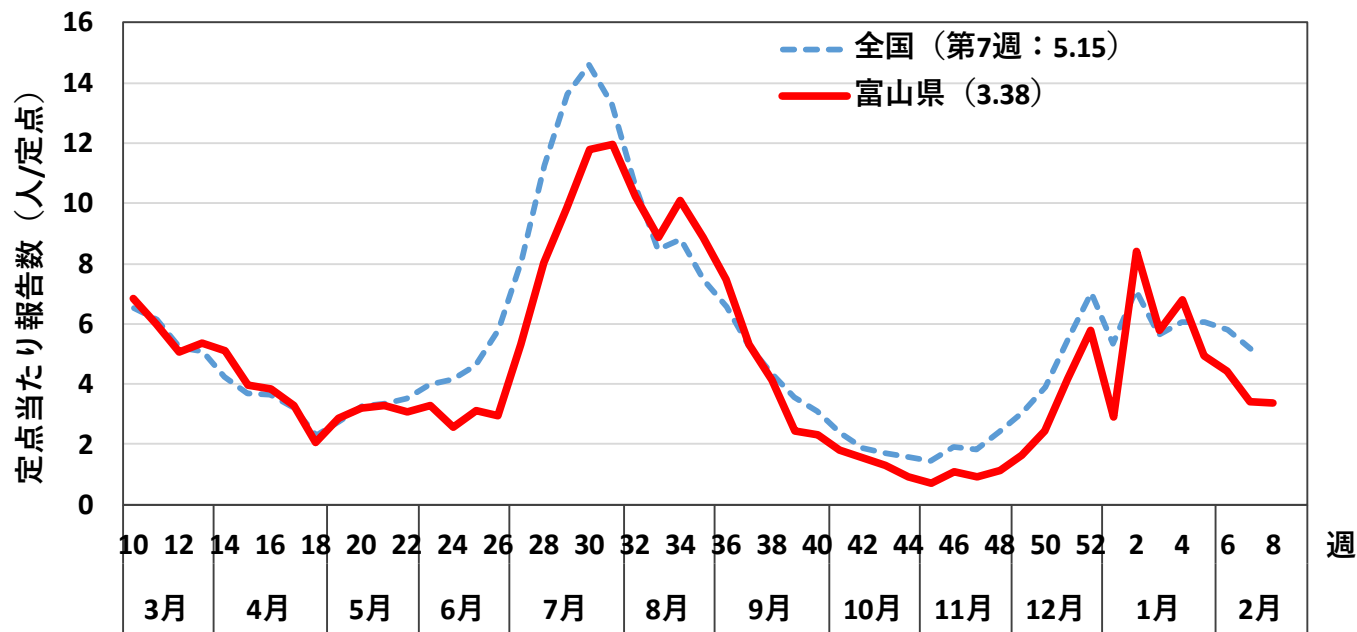
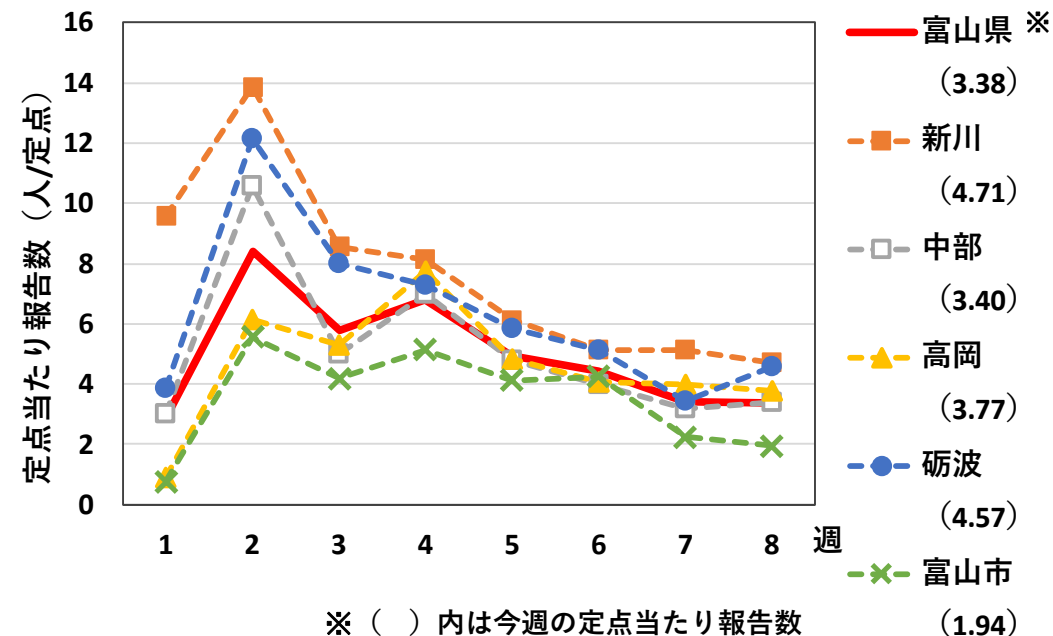


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は3.38人/定点であり、先週（3.42人/定点）から横ばいであった（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、砺波管内で先週から増加した。一方、その他の管内では先週から横ばいであった（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

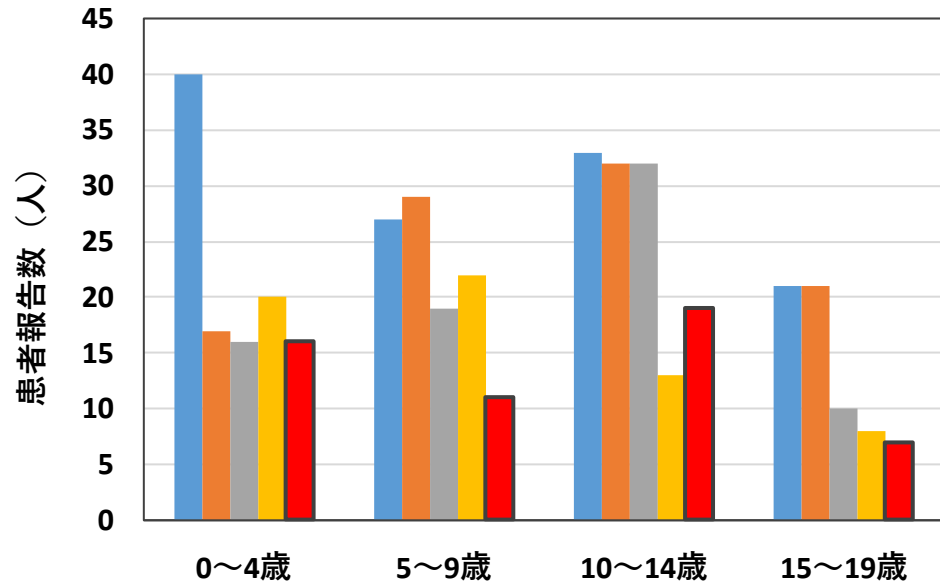
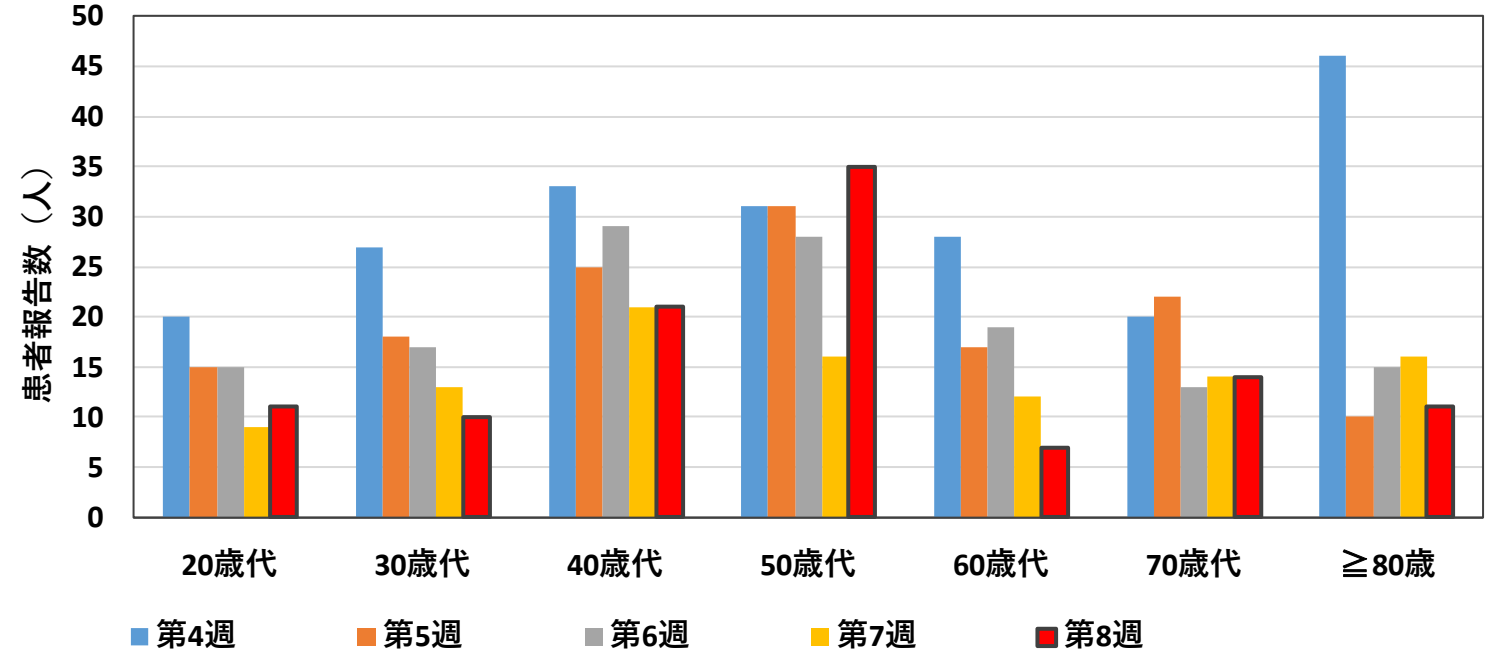


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10～14歳、20歳代、50歳代で先週から増加した。特に50歳代で大幅に増加した。その他の年齢では先週から減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

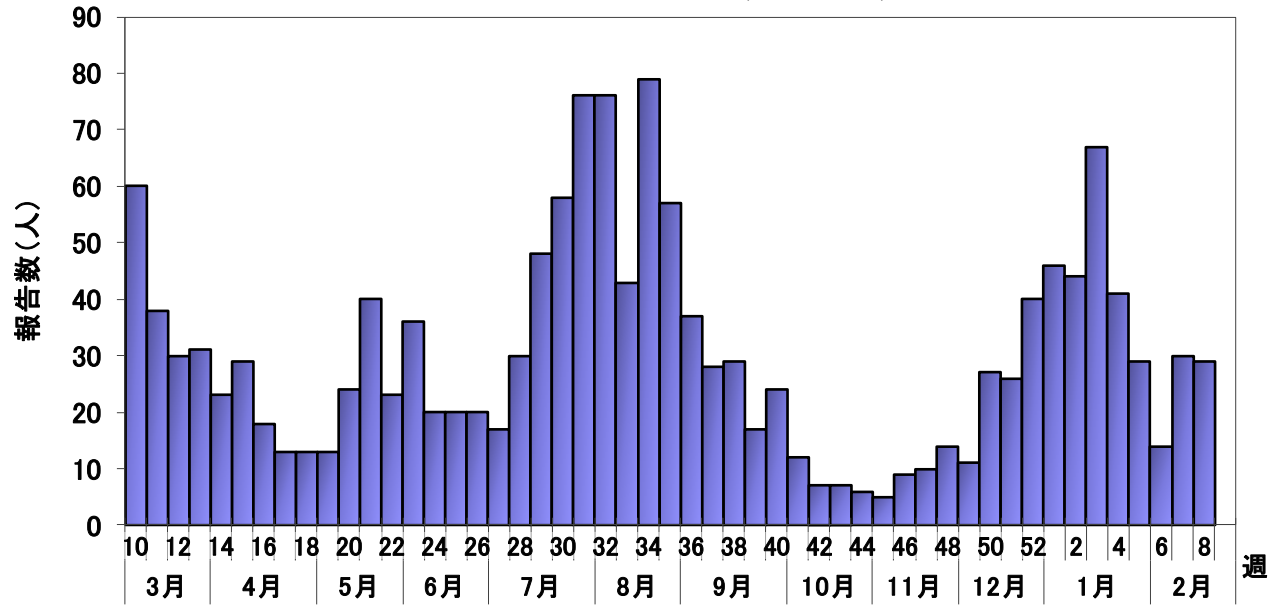
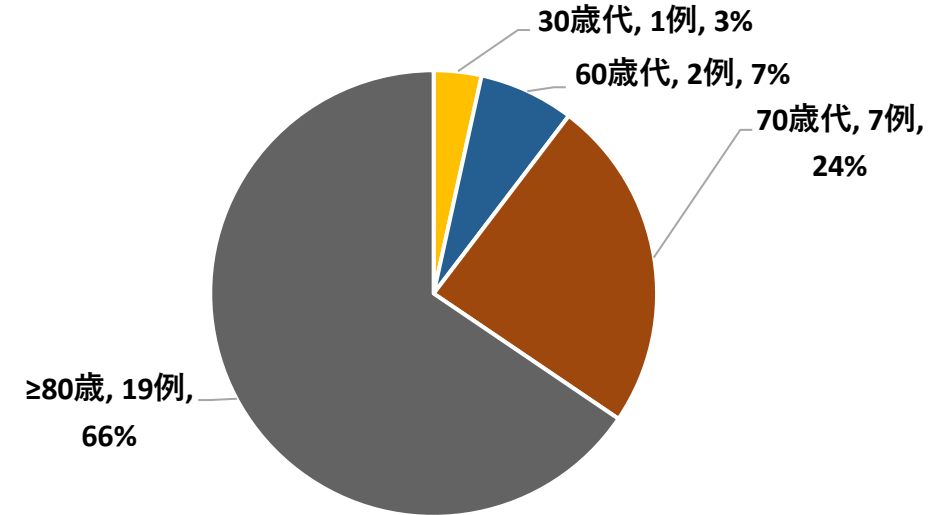


図5. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第8週、29例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第8週に29例の入院報告があり、先週（30例）から横ばいであった（図4）。
- ・ 患者の年代は、30歳代が1例、60歳代が2例、70歳代が7例、80歳以上が19例で、70歳以上が90%を占めた（図5）。
- ・ 県内のCOVID-19の患者報告数は、第5週以降減少傾向であったが、今週は先週から横ばいであった。入院サーベイランスの報告数も先週から横ばいであった。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。